

バレーボール ルールブック

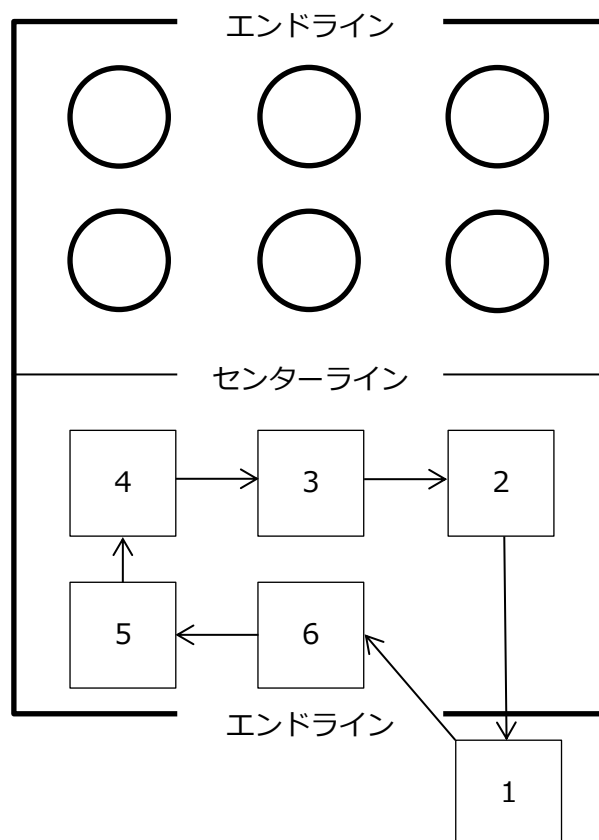
2019年4月5日

文責：SEBONE

※自分たちの試合が行われる1試合前に審判をするので、1試合前の開始10分前に必ず受付にいるようにしてください。審判をするのを忘れた場合1回目は注意、2回目は失格となりますので注意してください。

また、審判はこのルールブックをもとにして試合を進行してください。

・試合開始後10分を過ぎても出場団体が現れなかった場合は失格とする。



●基本事項

- ・1チーム6人制（登録できるメンバーは1チーム6人から12人）。
- ・1試合30分（交代時間等も含む）。
- ・トーナメント方式。

- ・ 1セット13点の3セットマッチ、セットごとにコートチェンジを行う。
- ・ 最初にじゃんけんで勝利したチームが第1セットのサーブ権かコート選択権のどちらかを選ぶことができる。
- ・ セットの最初のサーブ権はセットごとに交代とする。
- ・ ラリーポイント制。 ※ 1
- ・ ローテーションを行う。 ※ 2
- ・ ネットに当たったボールが相手のコートに入ることは認める。
- ・ 交代はプレイ中以外であれば各チーム自由に行ってもよい。
- ・ デュースは15点までとする（16点目を先に取ったほうを勝者とする）。
- ・ 試合の妨害となる出来事が起こった場合は、審判の判断でその得点を無効とする。
- ・ ホイッスルが鳴ってから8秒以内にサーブを打つ。
- ・ サーブに対してアタックやブロックをしてはいけない。

※1 ラリーポイント制…サーブで始まり、ボールの打ち合いが行なわれ、何れかのチームの攻撃が決まったり、ミスや反則などで打ち合いが終わったりすること。このサーブから何れかのチームが1ポイント獲得するまでの流れを1つのラリーという。打ち合いが終わった時、攻撃を決めた方、もしくはミスや反則をしなかった方がそのラリーの勝者となり、1ポイントを獲得する。ラリーの勝者がサーブ権を持っていない場合は、サーブ権も一緒に獲得する。サーブ権を持っていた場合は、前回サーブを打った人と同じ人がサーブを続ける。

※2 ローテーション…サーブ権を獲得した時に6つのポジションを時計回りに1つずつ移動すること。上の図を参照。

●主なルール

以下の場合には相手チームに1ポイントが入ることとする。

- ・ サーブ時にエンドラインを踏む、またはコート内に足を踏み入れたとき。
- ・ ボールをつかんだり投げたりしたとき。
- ・ 同じ人が2回連続してボールに触れたとき。（ただしブロックは除く）
- ・ 同じチームが3回を超えてボールに触れたとき（ブロックの回数も除く）。
- ・ ボールがゲーム中のプレーヤー以外の人や天井、壁に触れたとき。

- ・あきらかなオーバーネットをしたとき（ブロック時は除く）。
- ・アンテナの上部や外側から相手コートにボールを返したとき。
- ・ホイッスルが鳴ってから 8 秒以内にサーブを打たなかったとき。
- ・タッチネットをしたとき。※3

※3 タッチネット…ネットの上の白い部分に触れること。

●禁止事項

以下の行動をした場合は失格となる場合があるので注意して下さい。

- ・相手チームや審判に暴言や暴力をした場合。
- ・審判の指示に従わない場合。
- ・故意に相手にケガをさせた場合。

●勝敗の決め方

- ・2 セット取ったチームの勝利とする。
- ・セット中に時間切れとなった場合、そのセットは得点が多い方のチームの勝利とする。
また、取ったセット数が同じ場合は、得失点差で勝敗を決める。それでも決まらない場合、じゃんけんで決着をつける。ただし決勝・3 位決定戦は時間無制限で行う。

●上記にないルール

両チームの合意があれば、その場限りの特別ルールを認める。ただし、登録していない選手の出場、及び試合時間に関する特別ルールは認めない。また、それらを行ったことによる影響について、大学祭実行委員会は一切責任を負わない。